

年間授業時数

| 学年 | 各教科 | | | | | | | | | | 道徳 | 学活 | 総合 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|------|----|
| | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保健 | 技家 | 英語 | | | | | |
| 1 | 140 | 105 | 140 | 105 | 45 | 45 | 105 | 70 | 140 | 35 | 35 | 50 | 1015 | |
| 2 | 140 | 105 | 105 | 140 | 35 | 35 | 105 | 70 | 140 | 35 | 35 | 70 | 1015 | |
| 3 | 105 | 140 | 140 | 140 | 35 | 35 | 105 | 35 | 140 | 35 | 35 | 70 | 1015 | |

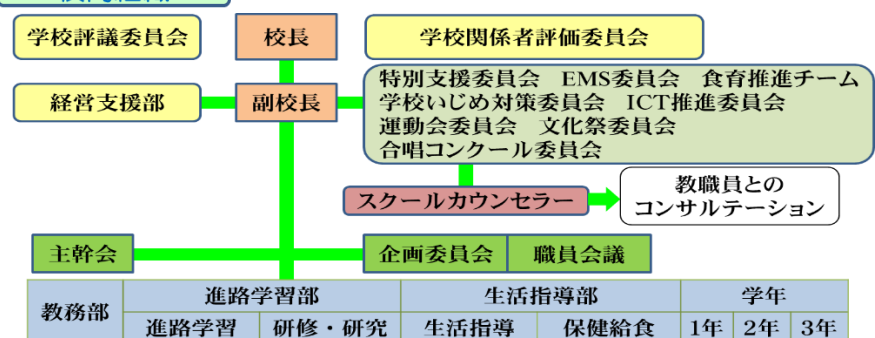
生徒数

| | 1年 | | | | 2年 | | | | 3年 | | | | 合計 |
|----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|
| | 1 | 2 | 3 | 計 | 1 | 2 | 3 | 計 | 1 | 2 | 3 | 計 | |
| 男子 | 14 | 14 | 14 | 56 | 20 | 20 | 20 | 60 | 19 | 19 | 19 | 77 | 193 |
| 女子 | 16 | 16 | 15 | 63 | 16 | 16 | 17 | 49 | 12 | 11 | 12 | 46 | 158 |
| 合計 | 30 | 30 | 29 | 119 | 36 | 36 | 37 | 109 | 31 | 30 | 31 | 123 | 351 |

教職員組織

| 職名 | 氏名 | 教科等 | 担任 | 担当等 |
|------------|--------|-----|------|---------------|
| 校長 | 中嶋 雅彦 | 経営 | | |
| 副校長 | 岩本 眞由美 | 経営 | | |
| 主幹教諭 | 深澤 健浩 | 技術 | 2年 | 教務主任 |
| 主幹教諭 | 美船 文子 | 音楽 | 3年担任 | 3学年主任 |
| 主任教諭 | 吉澤 舞 | 理科 | 2年 | 2学年主任 |
| 主任教諭 | 鈴木 裕介 | 社会 | 1年 | 1学年主任 |
| 主任教諭 | 高橋 克爾 | 数学 | 3年 | 進路学習主任 |
| 主任教諭 | 原田 昌幸 | 英語 | 3年担任 | 特別支援コーディネーター |
| 主任教諭 | 森川 紗希 | 英語 | 2年担任 | 道徳主任、研究主任 |
| 教諭 | 津田 忠輝 | 保健 | 3年担任 | 生活指導主任 |
| 教諭 | 西 比呂子 | 美術 | 1年担任 | 小中連携クリエイター |
| 教諭 | 与那覇 愛里 | 理科 | 3年担任 | |
| 教諭 | 小林 郁哉 | 国語 | 1年担任 | |
| 教諭 | 根岸 知世 | 国語 | 3年 | |
| 教諭 | 佐藤 瞭太 | 数学 | 2年担任 | |
| 教諭 | 中島 透也 | 数学 | 1年担任 | ICT推進委員長 |
| 教諭 | 成田 貴子 | 英語 | 1年担任 | |
| 教諭 | 中村 広大 | 社会 | 2年担任 | |
| 教諭 | 中島 範子 | 英語 | 1年 | |
| 教諭 | 松田 幸輝 | 保健 | 3年 | |
| 養護教諭 | 大友 雅弘 | 養護 | 2年 | 保健主任 |
| 育休代替教諭 | 伊瀬知 遼 | 保健 | 1年 | 初任・欠勤・欠席の教育担当 |
| 事務主任 | 伊藤 有美子 | 事務 | | 事務主任 |
| 栄養士 | 河口 由季 | 給食 | | |
| 学校事務補助員 | 岡田 登 | 事務 | | |
| 特別支援教室専門員 | 野呂 潤一 | | | |
| 図書館管理員 | 三好 自利子 | | | |
| 講師 | 藤野 里美 | 家庭 | | |
| 講師 | 藤本 文香 | 英語 | | |
| 講師 | 高村 真彦 | 数学 | | |
| スクールカウンセラー | 衛藤 真友乃 | | | 教育相談 |
| 心のふれあい相談員 | 土谷 京子 | | | 教育相談 |
| 学校生活支援員 | 森 素乃 | | | |
| 巡回指導教員 | 鈴木 春香 | | | |
| 巡回指導教員 | 吉田 良 | | | |
| 巡回指導教員 | 永井 雄太 | | | |

校内組織



部活動

11の部活が活動しています。

| 部活動名 | 顧問 | 文化系 | 顧問 |
|----------|--------|------|-------|
| サッカー | 津田 松田 | 吹奏楽 | 美船 根岸 |
| 野球 | 鈴木 原田 | 美術 | 西 |
| バドミントン | 与那覇 森川 | パソコン | 深澤 |
| 卓球 | 中島透 高橋 | 茶道 | 成田 |
| バレーボール | 吉澤 佐藤 | | |
| バスケットボール | 中村 伊瀬知 | | |
| 陸上競技 | 小林 中島範 | | |

週時程表

| 項目 | 時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | |
|------------|-------------|-----|----------------|-------------|-------------|---|-------------------|--|
| | 8:35 | 朝礼 | 朝読書(定期考査時は朝学習) | | | | | |
| | 8:45~8:55 | 朝の会 | | | | | | |
| 1校時 | 8:55~9:45 | 学活 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 2校時 | 9:55~10:45 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 3校時 | 10:55~11:45 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 4校時 | 11:55~12:45 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | (○) | |
| 給食・昼休 | 12:45~13:35 | | | | | | | |
| 5校時 | 13:40~14:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4時間目まで授業のある時は給食あり | |
| 6校時 | 14:40~15:30 | ○ | ○ | × | 道徳 | ○ | | |
| 帰りの会 清掃 | 15:35~15:55 | | | 14:35~14:55 | 15:35~15:55 | | | |
| 下校時間 | 15:55 | | | 14:55 | 15:55 | | | |

施設概要

| 校地面積 | 15,092㎡ | 校舎延面積 | 5,850㎡ |
|------|--|--|--------|
| 普通教室 | 普通教室(11) | | |
| 特別教室 | 理科室(2) 音楽室(2) 技術室(2) 家庭科室(2) 美術室 和室 視聴覚室 コンピュータ室 会議室(2) 進路指導室 図書室 教育相談室(2) 少人数指導用教室(2) 総合学習室 マイステップアップルーム | | |
| その他 | 校長室 職員室 放送室 準備室(11) 主事室 事務室 保健室 印刷室 トイレ(男女各7) 更衣室 給食室 PTA会室 生徒会室 給水ポンプ室 倉庫(物品、体育、防災) 他 | | |
| 体育館 | 1,200㎡ | 舞台 収納庫 更衣室 器具庫 放送室 トイレ 体育教室(準備室) 中2階ギャラリー | |
| 武道場 | 350㎡ | 柔道、剣道兼用 225㎡(15m×15m) 128畳 男女更衣室 トイレ 器具庫 | |
| プール | 25m×12m(6コース) 足洗い槽 腰洗い槽 シャワー 器具庫 男女更衣室 トイレ 機械室 | | |

地図・交通機関



東武東上線 東武練馬駅下車 徒歩7分

令和3年度

中学校要覧



校歌

紫匂う 武蔵野に
愛にうるおう 教え草
文化に栄ゆる 花開く
行く手の望 一筋に
誠を 北町中学校

木立に知に 家群に
生気みなぎる 我等また
励み いそしみ 自主自律
健く 正しく 伸び行かん
力を 北町中学校

見よ 雲はれし 空のはて
天そり立つ 富士の峰
その気高さに 身を修め
その清しさに 知を磨く
光を 北町中学校

作詞 高津才次郎
作曲 外山 国彦

練馬区立北町中学校

校長 中嶋 雅彦

〒179-0081 東京都練馬区北町3-1-34

(TEL) 職員室 03-3932-7231

(TEL) 事務室 03-3932-7232

(FAX) 03-5920-0335

(URL) <http://www.kitamachi-j.nerima-tky.ed.jp>

北町について

北町は、区内で唯一の宿場町「下練馬宿」として江戸時代より発展し、下練馬村の「北の町」として今でも当時の名が残る由緒ある地域である。その名残りが旧川越街道沿いの商店街の町並みに見られます。この地域の学校として地域の伝統文化を学ぶことを重視しています。

学校の沿革

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 昭和33年 4月 1日 | 本校設置告示 初代校長 石井 隆雄 校長着任 |
| 昭和33年 4月 6日 | 練馬区立開進第一中学校を仮校舎として開校 |
| 昭和33年 4月 6日 | 第1回入学式 第一学年160名(二学年165名、計325名) |
| 昭和33年 5月 1日 | 開校記念日に制定 |
| 昭和33年 5月30日 | 北町2丁目155番地に落成の新校舎に移転 |
| 昭和34年 5月13日 | 第1期増築工事 |
| 昭和34年 5月13日 | 校歌制定(作詞 高津才次郎、作曲 外山国彦) |
| 昭和35年 2月26日 | 第2期増築工事 |
| 昭和35年10月11日 | 掘り抜き井戸工事 |
| 昭和36年 7月27日 | 第3期増築工事 |
| 昭和38年 2月 2日 | 開校5周年記念式典及び屋内体育館落成式挙行政 |
| 昭和38年 3月15日 | 第4期増築工事 |
| 昭和42年 1月16日 | 給食室設置・給食開始(センター方式) |
| 昭和43年 2月10日 | 校旗制定 |
| 昭和43年 5月22日 | 開校10周年記念式典挙行政 |
| 昭和47年 3月31日 | 第1期校舎改築工事 |
| 昭和49年 3月31日 | 第2期校舎改築工事 |
| 昭和53年11月13日 | 開校20周年記念式典挙行政、応援歌制定 |
| 昭和63年 3月14日 | 格技室工事 |
| 昭和63年 6月18日 | 開校30周年記念式典挙行政 |
| 平成 5年10月29日 | 東側校舎(和室・視聴覚室・他)改修工事 |
| 平成10年 4月 1日 | 校歌編曲 |
| 平成10年 6月14日 | 同窓会設立 |
| 平成10年 8月20日 | 避難拠点防災井戸設置工事 |
| 平成10年10月23日 | 開校40周年記念式典挙行政 |
| 平成15年 9月 | 耐震補強工事 |
| 平成17年11月 | 給食室増改築工事、東トイレ改修工事 |
| 平成20年11月20日 | 開校50周年記念式典、普通教室空調機設置 |
| 平成22年 3月27日 | 太陽光発電施設屋上設置工事 |
| 平成24年 | 校庭雨水貯留施設設置工事 |
| 平成25年 7月 1日 | 屋上防水および外壁改修機械設備工事 |
| 平成26年 7月28日 | 特別教室空調機設置工事 |
| 平成27年 8月 1日 | 格技棟天井改修工事 |
| 平成30年10月20日 | 開校60周年記念式典挙行政 |
| 平成31年 2月 | プール改修工事 |
| 令和元年 8月 | 体育館空調工事 |
| 令和2年11月 | 西トイレ改修工事 |

学校経営の理念

- 多くの可能性を秘めた生徒を、組織的に教師力を向上させることにより、その良さを伸ばし、自ら社会の変化に対応していく力を身に付けさせるべく教育活動に邁進する。
- 常に社会における人との関わりを大切にし、社会の動向を注視し、時代の要請や変化とともに教育内容や方法を改善しながら教育活動を計画し、実践していく。
- 地域における学校であることを大切にし、その地域力を活用し、良きものを大切に継承するとともに、改善に向けては迅速に対応する。

学校の教育目標

- 学習指導要領ならびに東京都教育委員会の教育目標、練馬区教育委員会の教育目標および学校教育の指導目標に基づき、時代の変化に主体的に対応できる豊かな人間性と「生きる力」を育成すると共に、人権尊重の精神を踏まえて、国際社会の中で信頼と尊敬を得る人間性豊かな生徒の育成を目指す。
- 学習に励む
 - 自分や他人を大切に
 - 心身を鍛える
 - 責任をもって仕事をする

目指す学校像

- (1) 生徒が安心して、自らを鍛え、成長できる学校
- (2) 人との関わり合いを通し、知識を智恵に変え、国際化する社会の中で生き抜く力を育てる学校
- (3) 教職員全員が専門職としての力量を高め、教師と生徒が共に努力し和をもって高めあう学校
- (4) 保護者・地域に学校を開き、信頼される学校

育てたい生徒像

- 心も体も豊かに生き、社会を担うたくましい人となるために、
- (1) 主体的に学びに向かう生徒(自主性・意欲・向上心・粘り強さ)
 - (2) 未知の状況にも対応できる生徒(思考力・判断力・表現力)
 - (3) 進んで働き、協調できる生徒(基礎・技能・協調性)
 - (4) 感性豊かで、創造力のある生徒(感性・創造力)
 - (5) 心身を鍛え、粘り強くたくましい生徒(健康・体力・忍耐・気力・根気)

今年度の取り組み

- (1) 学習指導
 - ① 3観点による評価を行い、教師が各教科によって伸ばす各観点の能力を確実に捉えることにより、授業改善につなげていく。評価と指導の一体化を推進する。(習熟度別)し、数学科、英語科においては、少人数授業の指導方法を工夫(少人数制・習熟度別)し、生徒の実態に即した授業を実施する。また、学習指導要領に則り、英語の授業は原則英語で行う。実用的な英語学習を推進し、A・L・Tの有効活用を努める。
 - ② 生徒の学習への自立を図る中で、授業規律の習慣化について教師自ら手本を示し、チャイム着席・返事・挙手・聞き方・姿勢・机上整理等を推進する。さらに、話し合い活動を行うときのルールを年度当初に徹底し、その内容の充実を図る。
 - ③ ICTを活用した授業(全教科)を積極的に取り入れ、生徒一人一人を生かしわかりやすい授業の工夫と改善を目指す。数学科においては、デジタル教科書(生徒用)の活用を行いその成果と課題を探り、授業改善を図る。
 - ④ 教科担任ごとに授業評価アンケート(授業内容の理解・学習意欲の向上・主要ポイントの明示を含む)を年1回以上行い、授業改善の手立てとする。
 - ⑤ 長期休業中や定期考査前、放課後の補習など、年間を通して計画的な補充的学習を行い、基礎・基本の定着を図る。
 - ⑥ 道徳の授業の充実を図るため、時間の確保をし、道徳教育推進教師を中心にワークシートの工夫、改善を図る。昨年度実施した評価における研修を生かし、生徒、保護者にさらにわかりやすい評価を行っていく。また、道徳授業公開講座を充実させ、授業の質の向上を目指す。
- (2) 生活指導
 - ① 生徒の生活指導の充実を図るため、毎週1回生活指導部会を開催し、情報の共有化を図る。また、指導目標を明らかにするとともに、生徒指導の目指す方向を同じにし、健全育成を図る。
 - ② いじめや暴力行為などの問題行動に対しては、いじめ防止基本方針に基づき未然防止を図る。更に、学校いじめ対策委員会を中心とした適切な対応を行う。
 - ③ 練馬区小中一貫教育研究実践校として、生活指導のスタンダードの作成と今後の活用、児童・生徒の交流として部活動体験、挨拶運動を実施する。
 - ④ 生徒会自治活動を更に活性化させるために、生徒会本部役員の活躍の場を更に広げる。運動会・文化祭・合唱コンクールなどの学校行事、学級活動や生徒会主催の行事等で、生徒を全面に出した主体的な活動を支援し、協力する態度や連帯感・成就感を育む。これらの活動を通して、人間としてのあり方を考えさせ、自己を生かす能力を育てる。更に、地域との連携を深め、地域との交流活動の活性化の一助とする。
- (3) 進路指導
 - ① 望ましい勤労観・職業観の育成を図るため、キャリア教育の視点に立った進路指導の充実を目指す。そのために、職業調べ、職場体験などの体験学習の充実を図る。
 - ② 「キャリア・パスポート」を活用し、振り返りとともに見直しをもった自分らしい生き方への実現を図る。
- (4) 特別支援教育
 - ① 生徒一人一人の心のケアを図るため、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員、学校生活支援員の授業内での生活支援や行動観察を行い、教師の特別支援体制を強化する。また、保護者対象の教育相談を充実させる。
 - ② 特別支援委員会を設置し、毎週1回の委員会を開催することで特別支援教育についての認識を高めていく。さらに委員会での情報を校務用パソコンで集約し、全職員が共有し、共通歩調の生徒指導ができるようにする。
 - ③ 不登校担当教師を中心として、特別支援委員会と連携をし、不登校生徒への対策を図り、不登校加配加配教科の教師を中心としてその対応を行う。マイステップアップルームにおいて、特別支援教室が行われていない曜日に週2回午前午後1時間程度の登校日を設け、不登校生徒の登校を促進する。
 - ④ 練馬区小中一貫教育研究実践校として、中学校3年間による特別支援教育ではなく、小学校からのつながりを重視した9年間を見通した支援を充実させる。小中との情報共有にとどまらず、特別支援教室、特別支援学級などや第三機関との連携も小中間で検討していく。
 - ⑤ 生徒一人一人の状況に応じ、適切な第三機関(学校教育支援センター、トライ、練馬子ども家庭支援センターなど)との連携を行う。
- (5) 保護者・地域との連携
 - ① 学校広報活動の手段として、学校ホームページの各学年担当を設け、組織的に管理し、リアルタイムの情報が地域や保護者に伝わるようにする。また、学校便り、学年便り、保健室便り、給食便り、スクールカウンセラー便り等を活用して、常に学校の教育活動を理解してもらえよう努力する。
 - ② 地域から学び、地域に貢献する活動を通して地域との交流を深める。地域の特色を生かした活動として、ちがや馬の製作、阿波踊り体験、練馬大根の栽培を行い、地域から学ぶ活動を行う。また、地域の商店街や青少年育成委員会などの行事への参加、商店街での募金活動を通して地域との関連を深める。
- (6) 安全指導
 - ① 感染症予防対策においては、区からの指針に則り、校内での感染を防止する。感染症予防を徹底し、従来の学校教育活動、行事などを見直し、その目的に合った取り組みに変化をさせ実施していく。
 - ② 学校安全計画に基づき、自然災害に対して生徒自ら安全を確保し、同時に地域住民に対して救助の援助ができるよう防災に対する意識の高揚を図る。災害時の避難拠点の役割を踏まえ今年度10月9日(土)に実施する地域連携防災訓練により、防災の実践力を身に付け、救命講習会・避難訓練等を通してその対応能力を身につける。
 - ③ 光が丘警察のスクールサポーターを講師として招いたセーフティ教室は、全校で行い、その充実を図ると共に、地域・関係機関との連携を深める。
 - ④ 学校事故は予防措置を第一とする。事故発生時は、生徒の安全・安心を最優先に考え、「報告・連絡・相談・記録」を徹底し、全教職員で協力して組織的に対応する。
 - ⑤ 安全できれいな学校を保つために、日々の安全点検、清掃を行う。
 - ⑥ 生徒が安全で落ち着いて学習できる教室環境整備を行う。
- (7) 研究・研修
 - ① 教職員の資質向上を図るため、年間テーマ「主体的、対話的で深い学びの中で生徒一人一人の豊かな学力を育む」に基づき4回の校内研修、研究授業を実施する。
 - ② 練馬区小中一貫教育研究実践校として、目指す15歳の明確化への取り組みを北町小学校、北町西小学校と連携して行う。
- (8) 服務の厳正

教育公務員として、常に生徒・保護者・地域からの信頼に応えられるよう、責任と自覚のある行動をとり、服務の厳正に努める。(個人情報保護、体罰、わいせつ、会計事故の防止等)明確で円滑な事務の執行と適正な予算計画、予算の執行を行う。会計報告は速やかに行う。

年間行事予定

1年間の主な予定です。

